

大島商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	実践英語 I
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子・情報システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	"Business Vocabulary in Use Intermediate" Third Edition, Cambridge University Press					
担当教員	井口 智彰					
到達目標						
(1) ビジネス英語の基本的な語彙や表現が理解できる。 (2) 状況に応じて、英語を用いてビジネスで必要なコミュニケーションを取ることができる。 (3) 実務に必要な長文を正確に読むことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ビジネス英語の基礎的な語彙や表現が理解できる。		ビジネス英語の基礎的な語彙や表現がある程度理解できる。。		ビジネス英語の基礎的な語彙や文法事項が充分理解できていない。	
評価項目2	ある程度の速度でまとまった量の英文が正確に読める。		まとまった量の英文が正確に読める。		時間をかけてもまとまった量の英文が正確に読めない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE J(09) 本校 (1)-a 専攻科 (5)-b 専攻科 (5)-d						
教育方法等						
概要	教科書に沿って、ビジネス英語の基本的な語彙や表現の定義を理解し、演習問題によりその運用能力を高めることを目標とする。授業は原則として英語で行い、「聞く」「話す」といった音声での言語活動をできるだけ取り入れる。					
授業の進め方・方法	授業の進め方については、初回に授業で説明する。2回目以降の授業では、各課の新出語句や文法事項等については、事前に割り当てられた担当者が行うものとする。 語彙や文法事項などの言語知識を定着させるために、定期的に単語テストや小テストを実施する。					
注意点	事前に必ず教科書本文の音声聞き、音読できるようにしておくこと。 授業には必ず英和辞典（電子辞書）と（できれば参考書）を持参する。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス：講義の方針について説明する。 1. Work and jobs, 2. Ways of working 時制・品詞の機能		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		2週	3. Recruitment and selection, 4. Skills and Qualifications 5. Pay and benefit		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		3週	6. People and workplace 7. Companies and careers		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		4週	8. Problems at work, 9. Managers, executives and directors 10. Businesspeople and business leaders		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		5週	11. Organizations 1 12. Organizations 2		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		6週	13. Manufacturing and services 14. The development process		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		7週	15. Innovation and invention 16. Products and services		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		8週	17. Materials and suppliers 18. Business philosophies		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
	4thQ	9週	19. Buyers, sellers, and the market 20. Markets and competitors		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		10週	21. Marketing and marketing orientation 22. Products and brands		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		11週	23. Price, 24. Place 25. Promotion		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		12週	26. E-commerce 27. Sales and costs		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		13週	28. Profitability and unprofitability 29. Getting paid		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		14週	30. Assets, liabilities and the balance sheet 31. The bottom line		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	
		15週	32. Share capital and debt 33. Success and failure		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。	

		16週	34. Mergers, takeovers and sell-offs 35. Personal finance		基本的な語彙や表現が理解でき、状況に応じて適切に使用することができる。		
評価割合							
	小テスト	発表・授業態度	相互評価	課題・提出物等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	20	0	0	100
基礎的能力	60	20	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0